



芦安中学校だより

第 8 号

校長 大石 浩雄

2025. 9. 1

夏休みが終わり、2 学期がスタートしました。記事の内容は 1 学期末から夏休み中のことになります。日にちがたってしまったものもありますがご容赦ください。

☆お世話になった小林雅人先生とお別れ

4 月から国語の授業を担当していただいた小林雅人先生が 1 学期末で退職となりました。4 か月間ありがとうございました。



最後の勤務日となった 7 月 17 日の給食終了後に、小林先生から全校生徒にお話をいただきました。その後、生徒を代表して生徒会長から寄せ書きとお礼の言葉を送ることができました。生徒達にはいただいた言葉を大切にしてください。生徒達にはいただいた言葉を大切にしてください。なお、小林先生については、国語の授業を担当することは終わりますが、今後も芦安小中学校の学校運営協議会委員としてコミュニティスクールとしての本校の学校経営にご協力いただくこととなっております。どうぞよろしくお願いいたします。

☆1 学期終業式の様子

7 月 18 日(金)に 1 学期の終業式を行いました。その中で 2 名の生徒が 1 学期の振り返りや夏休み・2 学期に向けた決意を話してくれました。2 名の生徒の話を聞いていると、自分のことをしっかりと見つめ、頑張れたことや問題点を自分の言葉で表現している、1 学期の行事で心に残ったこととあわせて 2 学期にある行事で自分の強みを発揮したいと主体性を感じさせる言葉を語っている場面があり、生徒の成長を感じました。また生徒会長からは、夏休みの過ごし方に



ついでの話がありました。こちらについても、自分たちのために自分たちの約束事として充実した時間になるように呼び掛ける内容で、感心させられました。

71 日間の 1 学期、生徒の成長を色々な場面で感じることができました。その多くは自然発生的なものではなく、他者との関わり合いの中で互いに影響を及ぼってきたからだと考えます。2 学期も他者との関わり合いが必要となる行事や活動がたくさんあります。その中でさらに生徒が成長してくれることに期待しています。

☆バドミントン部の県総体

7 月 19 日・26 日に県総合体育大会バドミントンの部が行われました。19 日は女子ダブルスの 1 ペアと男子シングルス 2 人の試合が行われまし

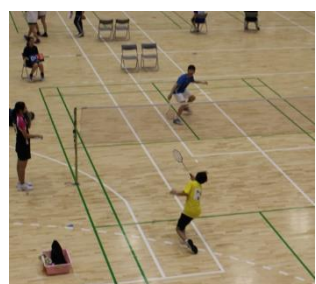


た。女子ダブルスの 1 ペアと男子シングルスの 1 名については残念ながら 1 回戦で敗退となってし



ましたが、次につながる試合となりました。残る男子シングルス 1 名は、フルセットの接戦を逆転で勝利することができました。芦安中バドミントン部唯一の 3 年生として、後輩に頑張る姿を示してくれました。

26 日は、女子シングルスと勝ち残った男子シングルスの試合が行われました。女子の試合は、3 年生を相手に検討しましたが残念ながら敗退、男子の 2 回戦についても、この大会で 3 位になった選手を相手によりラリーができる場面もありましたが、残念ながら敗退となってしまいました。



総体は運動部の生徒にとって集大成となる大会です。今年もいくつかの競技・会場を見てきました。そこでは技術や体力だけでなく対戦相手への敬意、大会を支え応援してくれている人への感謝・配慮など、生徒やチームが積み上げてきた人としての成長を感じさせる姿をあちこちで見ることができました。改めて部活動のような活動を「一生懸命やる」「真剣にやる」「粘り強くやる」「夢中でやる」「仲間とやる」意義や大切さを感じました。

☆マーシャルタウンとの国際交流会

7月30日(水)の午前中、アメリカの姉妹都市であるマーシャルタウン市からの訪問団が芦安中に来ました。夏休み中の訪問のため、希望者を募り、昨年アメリカへ訪問した男子2名と有志の女子3名の5名が学校代表の交流団として対応しました。交流にあたっては、5名の生徒がどんなことをするのか話し合いをして準備をしてきました。

交流会はスライドを使って芦安中の紹介をすることから始まりました。芦安中らしいところを紹介しようと5名の生徒が意見を出し、全校登山をはじめとした自然体験活動や小中合同活動などについて英語を交えながら紹介しました。学校紹介が終わったところで校舎内を見学してもらっていただきました。その後体育館へ移動して琴と太鼓を使った体験をしてもらいました。この内容についても日本らしいもの、芦安らしいものがないのではないかと生徒たちが考え決めたものでした。琴では女子3名による「さくら」の演奏を聴いてもらった後、訪問団の人達に実際に「さくら」を演奏する体験をしてもらいました。また、太鼓については芦安中生徒5名で「勇気」の冒頭部分を演奏して聴いてもらい、その後実際に太鼓を叩いてみて、最後は全員でリズムをそろえて叩くことで体験しました。太鼓の体験が終わったところで最後に



スライドを使って学校紹介



琴を弾くのは初めて?



大人も挑戦



とつても上手



バチの持ち方を説明



丁寧に教えているね

アメリカからきた訪問団のみなさんへ送る曲として琴で「ミッキーマウスマーチ」「It's a small world」の2曲を演奏して交流会が終了しました。

1学期はたくさんの行事があり、なかなか時間が確保できない状況の中、自分たちで意見を出し、時には休み時間や放課後の時間などに練習をして今回の交流会を行ってくれた交流団の生徒5名と英語面でサポートしてくれた志村先生・ALTのB先生に感謝いたします。

☆2年生の職場体験

夏休み中2年生はキャリア学習の一環として職場体験を実施しました。体験先は生徒の将来の希望職種や興味関心等に応じて違っていますが、それぞれの場所で自分の将来に向けて取り組みました。(都合で夏休み後に体験する予定の生徒もいます)

職場体験では、お世話になる会社の業務そのものを体験することもあります。それ以外にも、会社の方やお客様とのコミュニケーション、指示をされたことをするだけでなく自分からできることを探したり、聞いたりする積極性等、社会に出たときにどこの職場であっても必要とされることも経験できたと思います。

現代は人手不足で働く場所はたくさんあると言われています。ただ、いくら働く場所があっても仕事をする基本的な力が身についていなければ仕事を続けることは難しいでしょう。今回の体験を通じて自分は何ができるのか、どんな力を伸ばすことがよいのかといったことを考えるきっかけにできるとよいと思います。



指示を真剣に聞いています



モデルハウスの案内をしました



イベント準備の作業をしました

☆PTA 奉仕作業への参加

ありがとうございました

8月30日(土)の7:20から約1時間PTA奉仕作業を行っていただきました。保護者と児童生徒が集まり、2学期の始まりに学校環境を整えようと汗を流しました。暑い中ご協力いただきありがとうございました。



除草作業ありがとうございました



芦安中学校だより

第 9 号

校長 大石 浩雄

2025. 9. 8

9月1日より2学期がスタートしました。生徒の元気な姿を見て充実した2学期にしてみたいと思いました。2学期はふれあい運動会や白峰祭など大きな行事があります。生徒達がそうした行事に向けて前向きに取り組んでいけるよう教職員一同努力をしていきます。どうぞご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

☆新しい先生のご紹介

9月1日(月)より11月末までの間、月・火・木曜日の1校時～6校時の時間帯に南アルプス市の学力向上支援員として荻野涼香(おぎのすずか)先生が勤務してくれることになりました。荻野先生は、この夏に南アルプス市に転入をしてきた方ですが、それ以前は大分県の小学校で養護教諭をしていた経験をお持ちです。どうぞよろしくお願いいたします。



☆2学期始業式を行いました

9月1日(月)に2学期の始業式を行いました。式の中では生徒の代表として1年生の内藤さんと2年生の田中さんが、夏休みの振り返りと2学期に向けての抱負を話してくれました。話を聞いていると家族と過ごした思い出などとともに、夏休み中も計画的に学習を進めることができたことや2学期は自分の課題を乗り越えるために頑張ろうと思っていること等、前向きな話をしてくれていました。こうした言葉は他の生徒にとってもよい刺激になったのではないかと思います。



始業式を終えた後、引き続きその場で9月3日(水)に行われる南アルプス市交通安全弁論大会に出場する2年生根本さんの練習を兼ねて弁論を聴きました。交通事故にあった自分の経験を



もとに、時間に余裕を持って行動することの大切さなどを表情豊かに語る様子はとても立派でした。おそらく夏休みの間に何度も自分で練習をしたのでしょう。こうした仲間のがんばる姿も刺激になったことだと思います。

☆部活動の地域移行(地域展開)についての取組が始まります

すでにご存じの方もいるかと思いますが、現在南アルプス市では、文部科学省の「部活動地域展開事業」として休日の部活動地域移行(地域展開)を進めています。その一つとして芦安中バドミントン部の休日活動についてもその取組が具体的に始まります。これは全国的な生徒数の減少により、これまでと同じ体制での部活動運営が難しい状況となってきている現在、生徒の活動の機会を確保・継続することと学校の働き方改革を進めるために行う事業です。

具体的な内容や説明会といったことはこれからになりますが、生徒・保護者のみなさんにご理解ご協力をいただくこともあるかと思います。その際にはよろしくお願いいたします。



☆防災訓練を実施しました

9月2日(火)に防災訓練(地震が発生した想定)を実施しました。訓練は授業中に地震が発生した場合の行動を確認する目的で行いました。一時避難として揺れが発生した時に自分の身を守る行動がとれたか、二次避難として揺れが収まった時に迅速に安全な場所へ退避できたか、二つの場面に分けて確認しました。生徒達はどちらの行動についてもしっかりとできていました。



今後も「どうせ訓練だから」と軽く考えるのではなく、もし本当にそうなったときに「自分はどの行動すればいいのか」を冷静に適切に判断する力の大切さをしっかりと伝えていきたいと思っています。

☆芦安音頭の講習会を実施しました

9月3日(水)の放課後、講師に芦安地区在住の青山様をお願いしてふれあい運動会の「芦安音頭」の講習会を実施しました。児童生徒に指導ができるように、練習に先立ち教職員が講習を受け振付等を確認しました。



このプログラムは、地域の住人と児童生徒・保護者が一緒に踊ることで交流するとともに、芦安地区の歴史文化を感じ、継承していけるようにと取り入れられたようです。昨年度の運動会では、私は踊ることばかりに気持ちが行って歌詞の内容などまで深く考えることがありませんでした。そこであらためて確認してみると、芦安音頭が作られた時代、芦安から夜叉神峠を通り南アルプスへ向かう林道を人々が往来していた様子が感じられるものでした。芦安音頭を通して、芦安地区の歴史文化に興味を持ち、それがきっかけとなって地域の方との交流ができたらいいいのではないかと思います。

☆南アルプス警察署管内 中学生交通安全弁論大会で準優勝

9月3日(水)に南アルプス署管内の中学校7校による中学生防犯弁論大会が行われました。本校からは2年生根本さんが代表として出場しました。会場となった櫛形あやめホールには、大会関係者の他に他校生徒も聴衆として参加していたので、かなりの大人数の前での発表となりました。そんな中でも根本さんは練習で積み上げた成果を発揮して準優勝となりました。おめでとうございます。

大会終了後、他校の先生から根本さんの発表がとてもよかったといった話も聞くことができました。芦安中学校の代表として



頑張ってくれたことを称え、感謝したいと思います。

今回に限らず、本人の意思意欲があれば学校代表としてこうした大会やコンクールなどに参加する機会が複数あります。(生徒には募集があった際に随時知らせています)自分はできないと思わずぜひ挑戦してもらいたいです。

☆被害者にも加害者にもならないために

闇バイトや詐欺・性関連の犯罪、家出、SNSや動画投稿サイト・オンラインゲームなどを通じたトラブルなど、小中学生の周囲でインターネットやSNSに関連した問題・犯罪が増加しています。山梨県内においてもその傾向があり、実際に身近なところでそうした問題を聞くこともあります。保護者の知らないところ見えないところつながり、気づいた時には大きな問題になってしまっているという場合も多いようです。

社会としてこうした問題に対応するため利用制限やフィルタリング等もあるのですが、問題が後を絶たないのが現状です。こうした中で、子供を守るために大人ができることは、しっかりと子どもの様子を見て、少しでも早くその変化に気づき声をかけてあげることでしょう。以下にいくつか変化の例を紹介します。参考にしてみてください。



- ・スマホやタブレットの使い方、どんなアプリを使っているのか、どんなやり取りをしているのかなどを聞いてもはっきり答えないことはありませんか。
- ・スマホやタブレット等をいつも気にして触っていることはありませんか。
- ・スマホやタブレットを使った後に、イライラしたりおどおどしたり落ち込んだりする様子はありませんか。
- ・子供の発言の中によくわからない人物の存在を感じることはありませんか。
- ・渡している以上のお金を持っていたり、知らない持ち物があったりしませんか。
- ・使途がはっきりしないお金を欲しがったりしませんか。
- ・行先や誰と一緒になのかをはっきり言えないことがありますか。

「おや？」と思うことがあった時は、心配していることを伝えながら落ち着いて話を聞いてみてください。

☆何と比べる？(雑感)

自分はその人より勉強ができない、あの子よりも私の方が走るのが速い等、他人と自分を比べることがあるかもしれません。比べることで自分が頑張るエネルギーになればいいのですが、逆効果の場合もあります。どうせ比べるなら昨日の自分、1年前の自分と比べてみてはどうでしょうか。そうすれば人を羨むことも見下すことも減るのではないかと思います。



芦安中学校だより

第 10 号

校長 大石 浩雄

2025. 9. 18

昼間の暑さは続きますが、朝夕は過ごしやすくなりました。学校では運動会に向けて朝の時間や 1 校時を中心に熱中症に気をつけながら取組を進めています。

☆小中学生合同で 学校農園の除草作業を行いました

9 月 8 日(月)の朝の時間を使い、農園サポーターのみなさんと小中学生で学校農園の除草作業等を行いました。サツマイモの間に生えている雑草を、葉をより分けながら抜いたり、少し畝を掘り返してイモの出来を確認したりしました。

4 月末に植えてから約 4 か月、途中サルに荒らされるといったこともありましたが、順調に成長して葉が畝全体を覆うほどになりました。この間、農園サポーターの功刀様を中心に、暑さにもかかわらず農園の様子を気にかけ、見回りをしてくれる方や気づいたときに草刈りをしてくださる方がおりました。ありがとうございます。生徒達には、こうした見えない所で自分たちを支えてくれている人の存在に気づき、感謝できるようになってもらいたいと思います。



今回の活動は小中合同でした。中学生が主体的に小学生の様子に意識を配り、指示を出しサポートができるのか様子を見てみると、何人かの生徒が先生に言われなくてもできていました。素晴らしいことだと思いました。こうした力を他の生徒にも広げていけるとよいのではないかと思います。



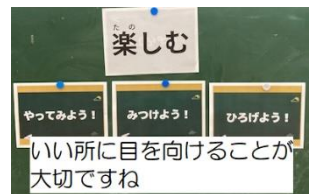
☆運動会に向けた 小中合同の取組が始まりました

2 学期が始まり 2 週目に入り、9 月 27 日に予定されている芦安ふれあい運動会に向けた取組が、今週(9 月 8 日)から本格的に始まりました。月曜日の朝、

取組開始にあたりまず中学生だけで、先の見通しを持ち、どのようにチームとしての目標や練習での約束事などを決めていくのかを話し合いました。話し合いのはじめには、ふれあい運動会の取組期間中は小中合同活動の時間がたくさんあること、その中で取組そのものを進めると同時に、小学生にとって目標となるような姿を見せることや小学生の手本となるような行動や発言ができることを中学生には意識して目指してほしいということが担当教師から伝えられました。今後の取組で中学生と小学校高学年の児童生徒が中心となり、メンバー全員で共有することで一体感を持って取り組んでいけることを期待しています。



木曜日には小中学生全員が集まり話し合う機会がありました。はじめに担当の先生から運動会を成功させるためには取組の時から「楽しむ」ことが大切、楽しむためには、「やってみよう!」「(仲間のいい所を見つかけよう!)」「(見つけたいい所をみんなに)ひろげよう!」という話がありました。その後、中学生が準備したことをいかしながら、小学 1 年生から中学生までがひとつのチームになれるよう話し合いました。話し合いを リードしたり、仲間をフォローしたりする姿が見られたところが良かったです。



小中学生がともに活動する機会は、中学生にとって多くの学びにつながる機会です。「やってみよう!」「みつげよう!」「ひろげよう!」の気持ちで取り組んでもらいたいと思っています。



金曜日は小中学生合同で開会式の隊形確認やラジオ体操、二人三脚のときの動きと進行を全体で確認しました。運動会の取組において中学生が小学生をリードしながら主体的な活動をするためには、先を見通すこととコミュニケーションを自分からすることが必要になります。この日確認したことを次回以降の練習にいかしてくれるとよいと思っています。

☆学校保健委員会と 学校運営協議会が開催されました

9月9日(火)の午後に芦安小中学校保健委員会と学校運営協議会が行われました。

学校保健委員会では、芦安小中の今年度の健康診断等の結果についての報告や校医や薬剤師の先生から保健・健康上の指導助言をいただいたりしました。その中では、近視の増加や薬物のオーバードーズ等、子供を取り巻く社会の変化に伴った新しい問題が取り上げられました。



学校運営協議会のようす

保健委員会終了後には、太鼓活動をする児童生徒の様子を見てもらい、その後の学校運営協議会で



太鼓活動は地域の願い

は、1学期に実施した学校評価やアンケートの結果や考察を含めた今後の学校運営について協議をしました。児童生徒数の減少等持続可能な学校づくりを進める上で課題となることについて意見が交わされました。長い時間となりましたがご協力いただいた委員の皆様には感謝いたします。

☆ふれあい運動会での 中学生のチャレンジ種目

ふれあい運動会のプログラムの中に、昨年度までの「中学生の表現」という種目に変わって新しく「中学生のチャレンジ種目」というものが入りました。

1学期の中頃からふれあい運動会の内容について生徒会を中心に話し合う中で、「自分たちのがんばる姿を見てもらう」「全員でひとつの目標に取り組む」「みんなが納得して取り組む」といったことを確認しながら内容を決めてきた種目です。

今年度は生徒全員で長縄跳びに挑戦して設定した目標回数を制限時間内に跳ぶということにチャレンジすることに決まりました。



みんなでひとつの目標に向かって取り組むことで学びがあります

長縄跳びという種目は、近隣の多くの中学校の体育祭でも取り入れられている種目です。それには理由があります。目標に向かってみんなで取り組みやすい競技でありながら、同時にメンバーの呼吸が合わない記録を伸ばすのが案外難しい競技でもあり、そのため一生懸命になるほど生徒同士の意見の衝突や葛藤が生まれた

りすることが、生徒の精神的な成長を促すことが期待できるからです。運動の得意な人もいれば苦手な人もいて、ひとりひとりの状況はすべて違います。その違いを乗り越え、みんなで決めた目標を達成するためには、自分の気持ちと相手の気持ちの両方を理解して折り合いをつけることが必要になります。その先に仲間との一体感や絆といったものも生まれるはずですよ。



回し手と跳ぶ人
息を合わせる大切ですね

運動会の取組に限ったことではありませんが、何かに挑戦する、やってみることが学びや成長につながります。取組期間中、もしかすると生徒の弱音や悩みを聞くかもしれない。その時はその気持ちを受け止めながら、どうすればみんなの目標に近づけるのかをアドバイスして、生徒の後押しをしていただけるとありがたいです。どうぞよろしくお願いいたします。

☆感染症に注意をお願いします

あまりニュースになっていませんが、コロナ等の感染症が流行しているとのことです。運動会を控え、これから取組も山場を迎えます。手洗い・うがいをするのと十分な栄養補給と睡眠時間の確保ができるようご指導をお願いします。

☆情報とのつき合い方

「切り抜き」や「切り取り」という言葉をご存じでしょうか。長い出来事の中の一部を切り取り、そこだけを強調・注目されるようにする情報編集の手法です。切り取り方によって同じ出来事が、よく受け取られることもあれば悪く受け取られることもあります。

私たちの身の回りにある情報の多くが、この切り取られた情報です。ネット上の情報はもちろん、テレビや雑誌の情報、うわさや評判といったことまで、長い過程の中の一部を切り取ったことが多いのです。そして、こうした情報には切り取った人の意図が含まれていることも多くあります。こうした情報の編集はよくあることですが、問題なのは、何らかの意図を持って切り取られた情報を深く考えず鵜呑みにしてしまい、結果として適切な判断ができなくなってしまうことです。

大切なことは、情報の中にある事実の部分(実際に起こった出来事)は何か、その事実の前後はどんな状況だったのか、どんな背景があるかなどを自分なりに調べて、判断をすることです。昔に比べ色々な情報たくさんの情報に触れることができるようになった現代だからこそ、こうした力を身につけていきたいものです。